

ハザードマップについて

近年、想定を超える大雨による浸水被害が多発していることを踏まえ、相模川の管理者である国及び神奈川県より想定される最大規模の降雨(48時間総雨量567mm)により相模川がはん濇した場合の洪水浸水想定区域が指定されました。

このハザードマップは相模川がはん濇した場合の浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域*を示したものです。このハザードマップと、関連するその他のハザードマップを活用し、災害に備えましょう。

*土砂災害(特別)警戒区域については、雨量に関係なく、傾斜地の形態により一律に指定されるものです。

関連するハザードマップ

茅ヶ崎市洪水ハザードマップ
(小出川・千ノ川・駒寄川および内水版を掲載)
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001267/1001269.html>

茅ヶ崎市土砂災害ハザードマップ
(土砂災害(特別)警戒区域の該当する地域のみを拡大し掲載)
<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001267/1015413.html>



お問い合わせ先 茅ヶ崎市 市民安全部 防災対策課 Tel:0467-82-1111

発行:平成29年12月

1 近年の風水害による被害

台風や大雨により、日本全国において毎年、大規模な災害が起きています。平成29年の九州北部豪雨では記録的な大雨が続き、土砂災害や道路損壊なども相次ぎ、多くの地区が孤立しました。平成27年の関東・東北豪雨では鬼怒川がはん濇し、逃げ遅れた住民4,258名が長時間に渡り孤立し、救助救出には多くの時間を要しました。平成26年の広島土砂災害では深夜1時から4時にかけて、局部的に猛烈な雨が降り、南北約15キロにわたる10か所以上の土砂崩れが発生、多数の住宅に土砂が流れ込み、多くの方が犠牲になりました。これらの災害には共通して、想定を超える降雨が発生しており、甚大な被害や逃げ遅れによる人的被害が発生しています。



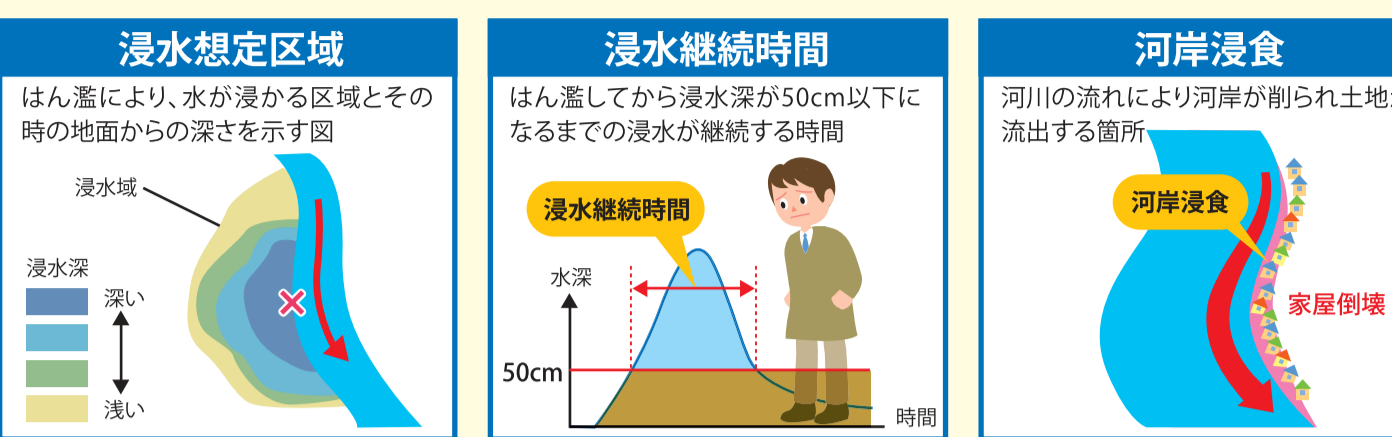
市内の過去の災害

茅ヶ崎市は相模川に隣接していたり、土砂災害のおそれのある場所もあることから、想定を超える雨が降ること、大規模な洪水、土砂災害が発生する可能性があります。平成26年10月の台風18号では1時間の降水量が54.5mmという激しい雨を観測し、市内の各所で道路冠水や床下浸水などの被害が発生しました。



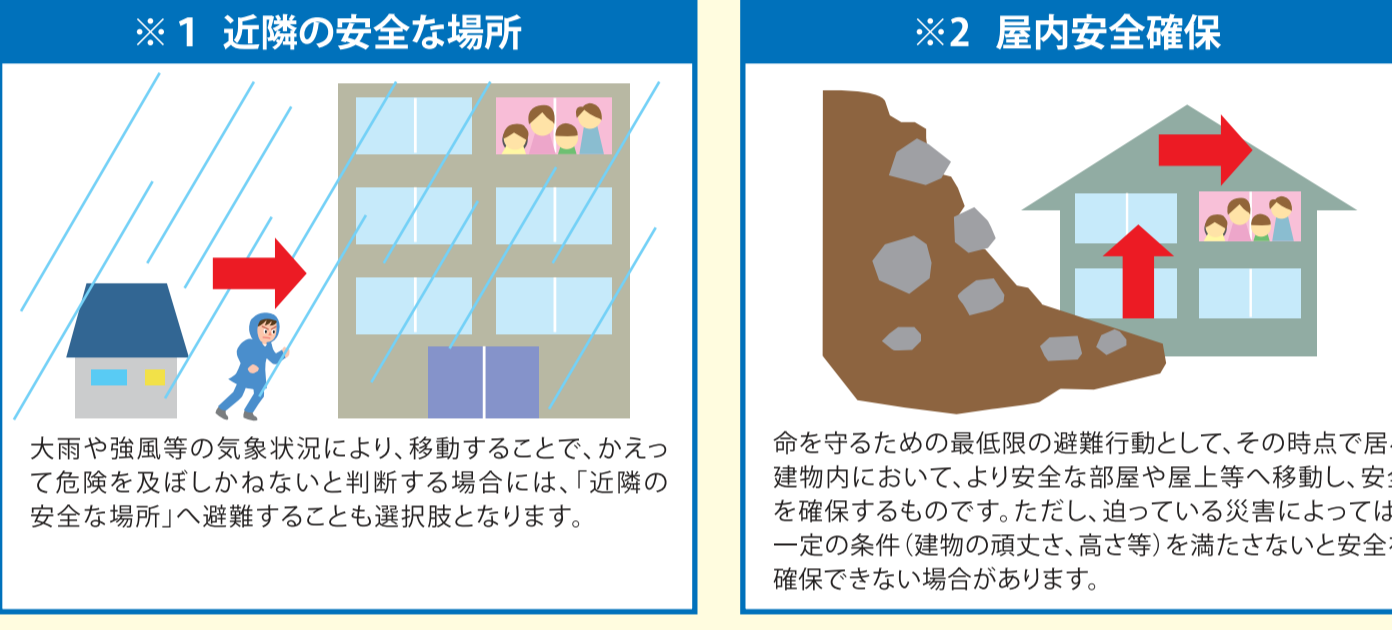
2 想定最大規模の降雨

河川の洪水対策は、これまで河川の洪水防御に関する基本となる降雨を前提としてきましたが、近年の風水害を受け、「堤防などの施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えのもと、新たに、「想定される最大規模の降雨」が設定されました。相模川では想定される最大規模の降雨として、相模川流域の48時間総雨量567mmと算定され、相模川の浸水想定区域、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)が公表されました。



想定最大規模の降雨に対する避難について

- 洪水・土砂災害時の避難方法は原則、その危険性のない場所へ避難する「立ち退き避難」です。浸水が想定される区域、土砂災害のおそれのある区域にお住まいの方は災害の危険性がない、市指定の避難所に避難してください。
- 浸水が想定される区域に自宅があり、自宅に留まる場合、浸水が長期間継続すると上下水道、電気、ガス等のライフラインの機能が停止するおそれがあり、取り残される危険性があります。
- ただし、道路の冠水や雨が強く降っている状況で、移動することにより命の危険があると判断する場合は近隣の安全な場所(頑丈で高い建物や標高の高い場所)*1や屋内で安全を確保*2してください。
- 過去の災害では避難の途中で災害に巻き込まれ、犠牲になられた方もいます。
- 災害時には、自らの判断において避難行動を実施する必要があります。お住まいの地域や自宅にどのような災害リスクがあるかを把握しておくことが正しい避難行動につながります。



3 避難行動の確認

自宅の状況を一覧で確認するフォーム。自宅は「浸水が想定される区域」にあるか、「河岸浸食のおそれのある区域」にあるかをチェックし、避難場所と移動時間を指定する。

立ち退き避難の注意点

避難するときは、隣近所で声を掛け合い、なるべく複数人で避難するようにしてください。危険な箇所は避けて、遠回りでも安全な道を歩いてください。

避難行動の注意点に関するイラスト付きの提示: みんなで助け合って避難、動きやすい格好、複数での避難、非常持ち出し袋、流れのある場所は近づかない、浸水している場所は注意が必要、斜面の近くは通らない。

早めの避難行動

早めの避難行動に関するイラスト付きの提示: 水深が深くなると移動が困難になり、身の危険を感じたら直ちに避難、歩行が困難になる水深、ドアが開かなくなる水深、車をとまってしまう水深。

4 避難に関する情報

市は災害が発生し、又は発生するおそれがある場合には、避難情報を発令します。それぞれの内容を十分に理解し、災害時には正しい避難行動をとることが大切です。

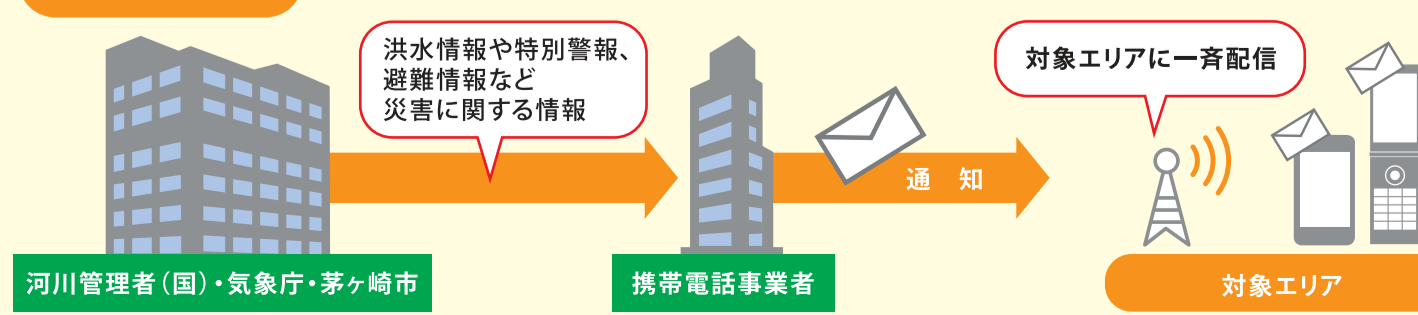
避難に関する3つのポイント: 1. 避難準備・高齢者等避難開始 (避難開始の合図), 2. 避難勧告 (対象区域の全ての方に対する避難開始), 3. 避難指示(緊急) (既に災害が発生している場合).

災害情報の入手

市では防災行政無線をはじめ、複数の手段を用いて、市民の皆様へ情報発信を行っています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。複数の手段を活用し、情報を入手してください。

災害情報の入手方法: 1. 防災行政無線(屋外スピーカー), 2. 防災ラジオ, 3. 茅ヶ崎市情報サイト, 4. ちがさきメール配信サービス.

緊急速報メール



5 避難の判断に有効な情報

気象庁は、災害による被害を軽減するため、気象情報・注意報などの防災気象情報を発表しています。住民の避難行動の判断を支援するため、災害に結びつくような激しい現象が予想される場合、その危険度の高まりに応じて注意報、警報、特別警報を発表しています。

気象庁による気象情報: 大雨注意報(浸水注意報), 大雨警報(洪水警報), 土砂災害警戒情報, 特別警報.

災害の危険性

PC・スマホでチェック!! 茅ヶ崎市防災情報サイト. 茅ヶ崎市でのこれからの天気, 茅ヶ崎市防犯情報サイト.

気象庁の危険度分布



6 円滑な避難をするために

台風などの風水害はあらかじめ予測のできる災害です。災害から命を守るために必要な情報・行動を事前に確認しておきましょう。

円滑な避難をするためのガイド: 1. 台風発生 (テレビ等で天気予報を確認), 2. 台風接近 (非常持ち出し袋の準備), 3. 台風上陸 (避難所についてからもラジオや携帯電話から情報収集).

7 茅ヶ崎市で想定される浸水継続時間

